

アフガン新政権の正と負

PMSダラエノール診療所医師

ハフィズラーカニ

治安は改善したものの……

皆さん、こんにちは。変わらぬご支援に感謝しております。私はPMSの職員で医師のハフィズラーと申します。

私たちアフガン人は皆、新アフガン政権が国民に与える正の影響も負の影響もよく理解しているのです、現状について少しお話をしたいと思います。

新政権になって良かった点は、治安が改善したことです。以前起きていた殺害、爆

撃、誘拐、汚職がほとんどゼロになりました。教育については、少女たちが登校を止められている学校もありましたが、三月五日より大学も含めて全校が再開され、少女たちも通学を始めました。

一方、政変がもたらした負の部分は、新政権になってアフガニスタンの資産が全て凍結され、経済状況が悪化したために多くの人が失業していることです。失職しなくても給料は未払いです。また食料や日用品の価格が日々上昇しています。

医療システムは崩壊

医療においても負の影響が出ており、政府に経済力がないため多くの公営病院では薬や検査キットなどが底をつき、職員たちには給与が払えなくなっています。そのため私たちPMSの診療所にやって来る患者が

日々増えており、時には外来患者の診療終了が午後三時までずれ込むことがあります。首都カブールには「アフガンジャパン病院」と呼ばれる新型コロナウイルス感染症専門病院がありますが、そこでも酸素ボンベやオミクロン変異株対応の検査キットや薬が不足しています。

行政は新型コロナウイルス感染に関するデータ収集などの指揮監督をしておらず、アフガンの医療システム全体が完全に崩壊していると言えます。

アフガニスタンでは今も新型コロナウイルス感染者が出ており、感染が疑われる患者が私たちの診療所に来院した際はバルコット診療所に送っています。またヨセフやグラムモハマッドのように、PMS診療所の職員の他にも感染して重篤な症状に陥った者が三名います。幸い、彼らは現在、快復して元気になっています。

今年初めから現在まで、アフガンジャパン病院やジャラバード市や他の地域からデータを集計したところ、アフガニスタンでは一万一千人以上が新型コロナウイルスに感染し、約一二〇人が感染後に死亡しています。医療設備の整っていないアフガニスタンでのこのデータは氷山の一角であると判断しています。

最後になりましたが、私たちの国アフガニスタンが再び繁栄を取り戻せますよう、アッラーの御加護を祈ります。